

低農薬・無農薬野菜と環境こだわり米による 龍谷大学 北船路米づくり研究会 地産地消の仕組みづくり

活動場所 滋賀県大津市中央 1-8-13
所在地 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5
設立年 2010年
会員数 10名
Facebook 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちの活動は5～8月、10～3月の毎月第4土曜日に大津市の商店街で野菜を販売することです。また地元農家の協力を得ながら龍大米、龍大芋と言う名前で学生が米と里芋を生産しています。さらに龍大米と同じ棚田からとれた酒米を日本酒にしていたきプロデュースさせていただいています。この3つの事業を行っています。

「環境や地域への貢献」

北船路の農家が自家消費用に生産している低農薬・無農薬野菜と環境こだわり米の生産を支援するとともに、環境に優しい農産物の必要性をPRできたと思います。また高齢化している農家を野菜市の活動で支援でき、北船路の農産物の広報にもつながり、地酒が地域の特産品となり、地域活性化に寄与できています。

「助成金が活きたと思う点」

大学と活動場所の距離があるので、交通費として、助成金が活きていると思います。また野菜を販売するための様々な資材や広告などの資金として活きています。



未来に続く生物多様性の森育成事業 びわ湖りす森倶楽部

活動場所 滋賀県高島市
所在地 滋賀県大津市千石台 10-10
設立年 平成22年11月1日
会員数 35名
連絡先 080-1467-0419 (金子)
biwakonomori@risumori.net
HP  Facebook 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

松枯れで荒廃する里山を再生し、琵琶湖の水源林の公益的機能の再生を目標として「未来に続く生物多様性の森育成事業」を行っています。かつて元気な松山で賑わっていたびわ湖低山帯の山々には、山菜取りやマツタケ刈りに入る人々、森の恵みを糧とする野生動物などが多く生息していましたが、森林病虫害の被害により動植物は減り、里山を利活用する人々も減りました。動植物と人とが共生できる森を再生し、琵琶湖を守る水源林の活性化につなげられるよう活動しています。

「環境や地域への貢献」

過疎地域での森にふれあう開催イベントを実施、琵琶湖下流域の人々と共に水源林・生物多様性の森の再生活動を実施しました。山間集落での森を活かした環境保全活動では様々な世代の方と交流を行い、賑わいのある地域づくりに貢献しました。

「助成金が活きたと思う点」

森の再生及び活性化のための苗木の植栽、薪割り、地拵え、獣害対策の実施を行い、イベント開催時の安全対策・事業実施に向けての広報活動など、様々な分野で助成金の活用を行い、多くの家族連れの方に参加してもらいました。



里山 いきものがたり 里山的暮らし ECO TASK TEAM

活動場所 京都府綾部市鍛冶屋町八塚もみじ谷
所在地 京都府綾部市鍛冶屋町御光道 15-1
設立年 2008年12月
会員数 25名
連絡先 0773-45-3716、satoyama.sasuke@gmail.com
HP  Facebook 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

里山で暮らし生きることが、どんなに素晴らしいことか。いのちのつながりの、そして私たちが、それと共に生きていることを、次世代の子どもや孫につなげていく活動です。具体的には、里山の暮らしの中の、生物多様性への気づきと眼差しを伝えることです。さらに、里山の繊細な四季の移り変わりによる風景などの色あいの変化などが、私たちの感性と知性へ、大きく関わっていることも試みています。

「環境や地域への貢献」

かつて里山で遊んだ世代が、もう子どもが安心して遊べる山や野や森が、ほとんど無くなっていることを再認識し、いろいろな地域で「子どもが遊べる場」を創りだそうとする動きが起こりだしています。

「助成金が活きたと思う点」

断片的に試みていたことが、通年で実施することができました。そして、里山に多様にアプローチしている広範囲の講師陣の協力・連携ができ、私たちの活動に厚みができてきたことは素晴らしいことです。子どもたちの「遊び」が、ますます多様になっていきます。



鴨川生き物調査

特定非営利活動法人
ビオトープネットワーク京都

活動場所 京都府京都市伏見区深草勸進橋町の鴨川 他
所在地 京都府京都市中京区壬生森町 13-34
設立年 2004年1月（法人格取得日）
会員数 73名
連絡先 075-541-0155、bionet@jca.apc.org
HP Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちは、京都市の中心を流れる鴨川でビオトープ（生き物の住みか）の角度から生物調査や水質調査などを行い、生物多様性や外来種問題などについて考えています。また、街中に住み自然と触れ合う機会の少ないお子さんたちなどを対象とした楽しく、安全な水辺の環境教育を実施し、身近な自然を体験してもらっています。

「環境や地域への貢献」

夏の調査イベントや春と秋の調査には、学生ボランティアの方々スタッフが参加してくださり、若者の自然環境への意識が高まっていることを確認できました。また、鴨川流域の児童施設や児童館、中学校、高校、他団体の参加があり、活動の広がりを感じた一年となりました。

「助成金が活きたと思う点」

今年度から開始した2つの人材養成講座「子どもたちへの伝え方」と「鴨川野鳥観察会」を通じて、スタッフの考え方や調査視点が広がりました。また、助成金により、ポータブル顕微鏡や観察用ミニ水槽をはじめとする調査器具の充実を図ることができました。

森林・林業の多角的な体験・学習を通じた人材育成

特定非営利活動法人
京都・森と住まい百年の会

活動場所 京都府京都市右京区、中京区、北区など
所在地 京都市中京区寺町二条下ル榎木町 98-7
設立年 2004年
会員数 80名
連絡先 HP Facebook Twitter



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

京都・森と住まい百年の会では、助成を受けて地域に密着した勉強会とコンサート、全国的な視野を身につけるシンポジウムの主に3つのイベントを実施しました。

「環境や地域への貢献」

当会の活動は、座学を通じた人材育成が中心になっており、直接的に環境改善につながるわけではありません。しかし、実務に携わる人との交流を通じて、一般市民や学生に林業への関心を高めるべく活動を行っています。今年は事務局出身の学生が国の環境省と自治体の林務課職員に採用され、これから勤務する中で、現場の人と最前線で活躍してくれるだろうと期待しています。

「助成金が活きたと思う点」

事業はどれも外部から演者を招いて行うことから、多くの人に呼びかける必要があります。講師謝礼、交通費、チラシの制作と印刷において助成金は大いに役立ちました。特に、今回はシンポジウムのテーマが「夫婦林業」に変わった関係で、費用がかさんでしまいましたが、予算超過をある程度圧縮することができました。

遊休・休耕農地や放置森林等の再生・管理事業

特定非営利活動法人
オーガニック土の塾

活動場所 京都府宇治市東笠取
所在地 京都府宇治市木幡南山 12 番地の 52
設立年 2014年
会員数 4名（法人）、約 50名（塾生）
連絡先 090-7491-5504、organic.tuti@gmail.com
HP Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちの事業は『遊休・休耕地や放置森林の再生・管理事業』です。環境保全→不耕作地、放置竹林・森林の再利用・再活用→一般市民の参加→インフラ整備・獣害防止柵・有害獣駆除→「オーガニック」「自産自消」「古の食文化」→人の流入を実施しました。

「環境や地域への貢献」

約4反の不耕作地、約1反の柚子畑、約1/2反の茶畑、約3反の竹の子畑の再生管理を行いました。近隣の間伐整備を行い有害獣の住みかや侵入路を潰し、生息域を後退させています。狩猟期間は狩猟登録を行い、他は宇治市の有害獣捕獲許可を取り、罟猟を実施し、食害等を減らし、地域の安全安心に貢献しています。

「助成金が活きたと思う点」

車の入れない棚田を再利用していますが、肥料や資材を人力で運ぶのには限界がありました。自動運搬機購入を助成していただき、大変助かっています。有害獣防止柵の設置にも助成していただき完成させる事ができました。柵が無いと農業が全くできない地域です。農具や農機具の保管・使用ができる小屋の整備にも助成していただき古道具も使っています。

西山古道の自然環境保全に関する実践活動 特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク

活動場所 京都府西山地域
所在地 京都府長岡京市神足 2-3-1 バンビオ 1 番館
設立年 2008 年
会員数 45 名
連絡先 090-5165-8405、nisiyama 3zan@yahoo.co.jp
HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

当会が 8 年前に整備した「西山古道」は、自然の雑木林の中を歩く 7 km のハイキング道ですが、120 種類以上の樹木が存在する豊かな雑木林です。この自然豊かな道に育つ主要な樹木に名札を掲示し、「西山古道のマップ「西山古道を歩こう！—植物の種類が大変豊かな魅力ある道—」では、地図上に樹木の場所や群生地を表示して制作しました。このマップを持ち西山古道を歩くことで、楽しみが倍加します。

「環境や地域への貢献」

これだけ多くの樹木の種類がある地域は珍しく、この地図を基に、樹木の勉強や河川の源流を訪ね、自然環境の重要性を体得してもらえます。今までほとんど関心のなかった京都西山の魅力を発信することで、森林・里山の保全に役立てればと願っています。また学校にもこのマップを持ちこみ、自然観察勉強の一助として貰おうと予定しています。

「助成金が活きたと思う点」

単に西山古道を歩くだけでなく、木々を眺めたり、周囲を見ながらゆっくり歩く人が多くなり、里山の良さをより満喫する人が多くなってきました。アジサイの植樹作業にも参加する人が増え、自然環境保全の必要性を感じる人が多くなってきてはうれしいことです。

三川合流地点（木津川・宇治川・桂川） 八幡市男山展望台周辺の環境整備事業 八幡市里山再生協議会

活動場所 京都府八幡市八幡平の山
所在地 京都府八幡市八幡園内 75 番地
(八幡市役所 環境経済部 農業振興課内)
設立年 2008 年
会員数 143 名
連絡先 075-981-5266 (神庭)、minoyas@maia.eonet.ne.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

八幡市男山の山上にある「男山展望台」周辺の環境を整備する活動に取り組んでいます。放置された孟宗の竹林を伐採し、雑草を駆除し、昨年度は市民も一緒になって「平戸つつじ」の苗木 100 本を植えるイベントを実施しました。市民の参加や、八幡市や教育委員会の後援もいただきました。

「環境や地域への貢献」

整備された展望台は明るく変身し、市民や観光客の憩いの場となりました。眼下に三川合流地点をはじめ、遠くは京都市内を望めます。「国宝」に認定された石清水八幡宮への参拝客も多く、地元は勿論、他府県や外国から訪れる人も増えてきました。私たちの活動も市民や行政にも認められてきました。さらに裾野を広げて地域に根を張るよう努力します。

「助成金が活きたと思う点」

ボランティア活動では踏み出せなかった企画に挑戦できました。昨年植えた 100 本の平戸つつじは蕾をつけています。民有地での活動では行政の支援をいただくのは困難でした。夏原グラントの助成金を頂けたことで、資金的に難しかった新しい活動に取り組むことができました。

ロゴマークとリンクバナー



上) 夏原グラントのロゴマークです。「夏」の文字をデザインし、オレンジ色で元気を表現しています。

採択された事業のチラシや購入品にはこれを表示していただいています。



下) 採択団体には夏原グラントサイトへのリンクをお願いしています。その時使っていただくリンクバナーがこれです。

伊吹山自然再生・保全事業

伊吹山ネイチャーネットワーク

活動場所 滋賀県米原市、岐阜県揖斐郡～不破郡
所在地 滋賀県彦根市正法寺町 686-11
設立年 2008年
会員数 46名
連絡先 090-3621-3273 (筒井)、ibuki@ds-j.com
HP 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちの活動には、伊吹山の豊かな自然や郷土を語りつぐことだけでなく、現実的な自然環境を見つめ、その保全・再生のあり方や必要性を解説する役割があげられます。このことから3年計画で「伊吹山の自然環境」について3つのテーマ「地学」「生物学」「人間学」を設け「その本づくり」をめざしました。

「環境や地域への貢献」

2014年度、夏原グラントの助成金を受けたことを機に、第1弾「伊吹山を知る”やさしい”地学の本」が出版できました。さらに、2015年度継続して助成金が受けられたことで、第2弾「生きもの学の本」を出版することができました。出版できた2つの本は、多くの新聞社やマスコミに伊吹山の「自然についてやさしく解説した本」として紹介されました。今回の「生きもの学」は、「生物多様性」というテーマで、自然環境の悪化が進む中、各地で自然再生保全に取り組む人たちが子どもたちへのテキストになると評価されています。この2つの本は、滋賀県内の全図書館に寄贈しています。どうぞご覧になってください。

「助成金が活きたと思う点」

夏原グラントの助成金が得られたことで、私たちがめざした事業「本づくり」を達成しました。そして、本書の出版は、新たな「人づくり」という事業の展開を可能にしつつあります。



中世城跡（鎌刃城）から里山再生 番場の歴史を知り明日を考える会

活動場所 滋賀県米原市番場一帯
所在地 滋賀県米原市番場 1982
設立年 1992年
会員数 21名
連絡先 090-5047-0153 (泉峰一)
HP  ブログ 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

里山保全の機運を高めるため、人々を里山に入れ込む鎌刃城跡を中心としたトレッキングコースを整備し、全国から訪れた「全国山城サミット米原大会」の多くの参加者等を案内しました。また、地元小学生を鎌刃城跡（里山）に招き、歴史学習とともに林業体験（樹木伐採、丸太切り、シカよけテープ巻）を行い森林への理解を深めていただきました。

「環境や地域への貢献」

近年使われることのなかった古道（林業や信仰に使われた山道）を復元・整備した「鎌刃城・松尾寺山若トトレッキングコース」を訪れる人々も増え、小中学生の校外学習のコースにもなり、里山が身近に感じられるようになりました。また、他の環境保全団体や観光ボランティアガイド、商工会との連携も広がりました。

「助成金が活きたと思う点」

トレッキングコースの中間点の青龍滝の休憩施設・便所や山道の階段などが整備でき、作成したトレッキングマップにより、子どもや女性たちにも快適で安全なコースとなりました。また、マップの地域や学校への配布により本事業への理解が深まりました。



今だからこそ、びわ湖のために石けんについて学び推進する事業

愛のまちエコライフ

活動場所 滋賀県東近江市妹町 70
あいうエコプラザ菜の花館
所在地 同上
会員数 16名
連絡先 0749-46-8100 (あいうエコプラザ菜の花館)

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今回わたしたちは①次世代を意識した初心者向けせっけん講座（座学）②次世代のための廃食油せっけんづくり体験講座（実習）③福祉と連携した 廃食油せっけんづくりの障がい者等の働く場としての検討④県内の団体とのネットワークづくり 以上の4つの事業を軸として活動を行いました。いずれもわたしたちが35年間続けてきたリサイクルせっけんづくりを次に担う、新しい世代をつくりだすことを目的としています。

「環境や地域への貢献」

講座の効果で『次世代で第2次せっけん運動を考える会（仮称）』が立ち上がり、新たにせっけんを入り口に琵琶湖の環境について取り組む動きを生み出すことができました。

「助成金が活きたと思う点」

助成金をきっかけに、体験講座など、改めてせっけんについて知ってもらう企画を進められたことで、思いを同じくする生協などの団体や若い世代との新しいネットワークを形成することができました。いただいたこの機会を生かし、今後は次世代への引き継ぎはもちろん、第2次せっけん運動ともなるぐらいの動きを創りだしていきたいと思います。



BDFをつくる・楽しむ・広げる 高校生プロジェクト 特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク

活動場所 滋賀県から全国へ。
韓国・中国・チェルノブイリ等 海外でも展開
所在地 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
設立年 2006年1月
会員数 500名
連絡先 HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

1. 八幡工業高校生による、小学生への出前授業は金田小学校・島小学校(4年生)・沖島小学校(全校生)を対象に延べ7回実施。菜の花プロジェクトの学習とBDF製造とバイオカード試乗の出前授業。高校生が主体となって出前授業プログラムを策定し楽しい授業を実施。2. 沖島の島民学習会として若いお母ちゃんを対象に、菜の花館で研修会を開催。「菜の花プロジェクト」が進める「循環型社会形成の学習」と「せっけんづくり」体験学習会実践。3. BDFを学ぶ、可能性を知る、楽しむ、では油藤商事榎青山裕史氏による沖島島民に講演と指導に加えて、離島振興協議会と沖島漁業協働組合等との協議で「自治会作製の廃食油回収ボックス」が設置され、沖島廃食油回収がスタート。さらに、菜の花で島を美しくしようとの動きも出てきた。4. 八幡工業高校生が、BDFで発電した電気による手作りのイルミネーションを製作。

「環境や地域への貢献」

八幡工業高校内から金田地区、沖島地区へ廃食用油リサイクルの意識づけの入口に立つことができました。とりわけ、沖島地区においては、離島振興協議会・まちづくり協議会を通し、「沖島エコの島」への具体的な第一歩となりました。

「助成金が活かしたと思う点」

高校生が主体となり、市内の子どもたちや、沖島島民のみなさんを通して、地域連携の糸口をつかみ、「廃食油回収リサイクル」・「BDF」に関心を高めるきっかけになりました。

親子の食育菜園～はたけっこ～ 特定非営利活動法人 百菜劇場

活動場所 滋賀県近江八幡市
所在地 滋賀県近江八幡市北之庄町401
設立年 2006年
連絡先 info@100seeds.net
HP  Facebook  Twitter 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

畑ごと、ご飯作りを通じて、子どもたちがいきものの多様性、命と自然・人と人とのつながりを体験できる環境づくりを目的に実施しました。具体的な活動は

- ・はたけ仕事や虫の観察会、しめ縄作り、味噌仕込みなど季節に応じて体験
- ・収穫した野菜でお昼ご飯作り
- ・みんなでお昼ご飯

「環境や地域への貢献」

プログラムを通じて、自然と野菜や環境に対する参加者の意識が高まったと思っています。自分の蒔いた種の様子を会うたびに聞いてくれる子どももあり、子どもの中でもはたけっこの種が育っていると感じました。また、はたけっこ以外の場でもご協力いただいた地域の方々や参加者、参加者同士の交流も始まっているようです。

「助成金が活かしたと思う点」

子どもが楽しく安心して学べる環境を作るためには、地域の方々の協力やテキスト等が必要でした。ご協力いただいた方への謝金やテキストのデザイン費に助成金を使わせていただき、プログラムを充実させることができました。

平和川・黒橋川をきれいにする事業 金田学区まちづくり協議会

活動場所 平和川・黒橋川
所在地 滋賀県近江八幡市金剛寺町375 金田コミュニティセンター
設立年 2010年
会員数 3,630世帯
連絡先 金田コミュニティセンター
0748-37-7255,FAX:0748-37-7277
HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

市街地を流れる平和川・黒橋川の環境を保全するため、河川清掃やクリーンウォーキング、水質調査、花いっぱい運動などの環境美化、川の中の生き物観察会や「のぼり旗」の掲示・全戸配布用機関誌の発行による環境教育及び啓発に取り組みました。

「環境や地域への貢献」

川の中の雑草やゴミが減少しており、川の中に生息する生き物の種類も増えてきているように思われます。このことから、近隣住民の平和川・黒橋川への関心が高まっています。近隣自治会からの河川清掃の参加も増えてきています。また、学区内の小学校や高等学校と連携した環境保全の取り組みが期待できるようになっています。私どもの取り組みは、滋賀県でも評価していただいているところです。

「助成金が活かしたと思う点」

助成金をいただく中で、水質調査・川の中の生き物観察会・黒橋川沿いの花いっぱい運動・環境美化と環境保全への継続的な啓発活動など、幅広い取り組みが展開できるようになりました。

夏原グラントの概要

新規採択事業の紹介

継続2年目事業の紹介

継続3年目・ステップアップ事業の紹介

河川環境美化作戦

竜王清流会

活動場所 滋賀県蒲生郡竜王町（一級河川善光寺川）
所在地 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地
設立年 2008年
会員数 約300名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

名神高速道路竜王インターチェンジから国道8号を越え、日野川に至る全長4.7kmの除草作業、清掃作業を「河川環境美化作戦」と題し、春5日間・秋5日間ずつ活動を行う中で、ボランティアで参加いただいている方々への昼食の炊き出しを行ったり、皆さんにきれいにいただいた善光寺川での自然観察会や魚つかみ、流しそうめんなどを実施しました。

「環境や地域への貢献」

この作戦を続けていることは、京阪神の水がめである琵琶湖へ注ぐ善光寺川の環境美化はもとより、毎年毎年繁茂する雑草をこまめに除去することで、竜王の玄関口であるインターチェンジ周辺の環境美化に貢献しています。

「助成金が活きたと思う点」

夏原グラントの助成によりのぼり旗を新調し、沿線企業様からの参加も増えてきました。同じ目的をもった参加者相互の交流が図られ、充実した時間となっています。また、自然観察会などを通じて子どもたちや保護者の方々に環境美化の大切さを実感していただきました。

棚田保全ボランティア活動

熊野・棚田を育てる会

活動場所 滋賀県蒲生郡日野町熊野地先
所在地 滋賀県蒲生郡日野町熊野431 グリム冒険の森内
設立年 2009年
会員数 16名
連絡先 HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

助成金を初めていただいてから2年目になりました。耕作を放棄されて雑草が茂っている荒地を“復田しよう”と、地主の協力を得て棚田ボランティア活動として取り組んでいます。

「環境や地域への貢献」

復田作業がしやすいところから取り組みました。雑草が茂りシカや猪の活動拠点になり見た目も悪い環境でした。獣害柵を設置し獣害を減少対策をしました。年間数回ボランティアの協力を得ながら取り組み、環境も良くなってきました。また、収穫した稲わらを熊野神社行事に提供し、注連縄作りや弓引き行事などに参加とともにも貢献しています。

「助成金が活きたと思う点」

いただいた助成金は活動の運営資金として活用させていただいています。以前は資金が不足気味で活動が消極的になり草刈りだけで終わり、また事業の計画時になると来年やめてはという意見も出るようになってきていました。そんな時夏原グラントを知り挑戦しましたが1次審査、不合格でした。その後再チャレンジして、助成が受けられるようになりました。本当にありがとうございます。

チェーンソーと軽トラで山を元気に！ 町を元気に！ 甲賀木の駅プロジェクト運営委員会 (甲賀愛林クラブ)

活動場所 滋賀県甲賀市甲賀町
所在地 滋賀県甲賀市甲賀町神1323
設立年 甲賀愛林クラブ1974年、甲賀木の駅プロジェクト2014年
会員数 甲賀愛林クラブ170名、甲賀木の駅プロジェクト40名
連絡先 0748-88-4312(竹中島)
Facebook 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

山で放りっぱなしになっている木“林地残材”や間伐した木を森林所有者やボランティアがチップ工場に出荷して、受け取った伝票を“甲賀木の駅運営委員”に持っていくと、通常より高い金額で地域登録商店で使える「モリ券」と交換できる、という仕組みを運営しています。山が綺麗になって、地域の商店が元気になる、環境保全と地域振興を合わせた活動を行っています。また資金的な自立や再生可能エネルギーの活用、障がい者の就労の場づくりを目的に、甲賀福祉作業所と共に薪生産販売の試験を行いました。

「環境や地域への貢献」

山に行く人が増えました。森林整備を行う人材が地域に増えれば、森林環境保全への意識が高まります。地域商店さんにもモリ券を通して当活動を知らせてもらい、地域の活性化を共に図ることができました。薪の生産販売を通して町の方ともつながり、再生可能エネルギー利用、環境意識の普及を行っていききたいです。

「助成金が活きたと思う点」

仕組みを回していくための運営費として助成金が活きました。

琵琶湖を守る「いきものみっけファーム滋賀」

山内エコクラブ

活動場所 滋賀県甲賀市
所在地 滋賀県甲賀市
設立年 2009年
会員数 35名
連絡先 090-7966-2262、ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp
HP 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

琵琶湖にそそぐ野洲川の上流である甲賀の地域で、2015年度は「甲賀市みなくち子どもの森」との協働により、市民参加型「いきものみっけ調査」を行いました。生きものの触り方等の説明会を2回、参加者が自宅付近で行う生きもの調査とデータ提出、データのマップ化を行い、振り返りを行い冊子にまとめました。

「環境や地域への貢献」

緑豊かで野洲川の清流が注ぐ甲賀地域で、身近な水田の生きものに関心を持ち、生き物の命と暮らしのつながりを、子どもだけでなく大人たちも学ぶことができました。行政機関「みなくち子どもの森」との協働により市内全域に広く「いきものみっけ」が周知され、参加を得ることができました。

「助成金が活きたと思う点」

市民から出された、いきものデータを専門家による集計、マップ化することができました。また、「いきものみっけ調査」を行う意味を体験と講義による学ぶ機会を作り、最終の報告書を作成することができました。報告書作成により、今後は、報告書を用いた県内への発信、情報交換が可能となりました。



大学生の力で外来水生植物から琵琶湖を取り戻そう

特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 IVUSA

活動場所 琵琶湖全域（草津市、大津市、守山市、東近江市、高島市、彦根市、米原市）
所在地 東京都世田谷区*関西事務所：大阪府高槻市
設立年 1993年
会員数 約3000名*2016年3月末時点
HP 

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

琵琶湖で急速に異常繁殖しているオオバナミズキンバイなどの外来水生植物の除去作業を実施しています。また、この問題を広く発信していくため、行政、地域環境団体、漁業協同組合、住民など、地域のあらゆるセクターと連携しながら事業展開することで、豊かな琵琶湖を取り戻す協働体制の構築を目指しています。

「環境や地域への貢献」

除去活動を7回行い、延べ1,652名が参加し、約55トンのオオバナミズキンバイを除去することができました。また、広報活動では韓国での世界水フォーラムを含め7度フォーラムに参加し、淡海の川づくりフォーラムにて入賞、第18回日本水大賞にて未来開拓賞を受賞しました。こうした発表や受賞を通じて地域住民の琵琶湖に対する環境問題に関心を高めることができました。

「助成金が活きたと思う点」

私たちは定期的なオオバナミズキンバイの生育状況の下見を行っています。その際に電車代を助成金から支給することで、より多くの学生に琵琶湖の現状を知らせることができました。広報活動では、クリアファイルやうちわなど新しいものを積極的に作ることができました。また、夏の大規模活動に参加した関東の学生にも影響を与え、関東の外来水生植物問題に取り組むなど活動の輪が広がりました。



街中美化運動はなのみち

街中美化運動はなのみち

活動場所 滋賀県高島市JR近江今津駅から観光船乗り場までの通り
所在地 滋賀県高島市今津町弘川253、高島市今津支所今津まちづくり情報センター内 澤田浩
設立年 2004年
会員数 12名

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今津で一番人の往来が多いJR近江今津駅東口広場より、観光船乗り場までの約200mを「はなのみち」として、フラワーロードをつくりあげ、観光客及び地域の人々に潤いを与え、憩いの場として提供することにより「まちづくり」の一端を担うことを目的に12年前から活動を始めました。4年前までは単独で活動してきましたが、最近になり、ようやく社会福祉協議会のボランティア各位の協力を得て、メンバーも10名を超え、活動も広がりました。今後、メンバーも増えてきたことから、活動範囲を拡大して、日本一きれいなまちづくりを目指したいと考えております。

「環境や地域への貢献」

目的は花づくりを通して助け合い、地域と密着を図り、潤いのある環境づくり、まちづくりを推進するとともに、訪れる人たちが心穏やかな場所として提供することにあります。近年は観光客や地元の人にも共感を得ており、花の季節に訪れる人も増えています。

「助成金が活きたと思う点」

はっぴや安全コーンの購入により、安全の確保と同時にグループの一体感が深まりました。今年度はプランターボックスの修理という長年の懸案を解決したことから、今後さらに環境美化を図りたいと考えています。



里山体験隊 2015

特定非営利活動法人 絵本による街づくりの会

活動場所 滋賀県高島市マキノ町
所在地 滋賀県高島市マキノ町石庭299番地の1
設立年 2004年
会員数 約45名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

春には、高島市マキノ町の里山の田んぼで田植えをし、夏には里山の川遊びや流しそうめん等を楽しむサマーキャンプ、秋には春に田植えをした田んぼで稲刈り、冬は、絵本作家の本田哲也先生と里山の野山を駆け回り、年間通した里山体験隊は終了しました。

「環境や地域への貢献」

地元の人々は意外にも、里山の素晴らしさや貴重さに気づいておりません。身近な里山の自然環境の素晴らしさや貴重さを、年間通じたプログラムで体験し、それを子どもたちに伝えることで、未来の里山の環境を守ることに繋がると 생각합니다。

「助成金が活きたと思う点」

助成金のおかげで、サマーキャンプの参加費用を安価に設定できて、より多くの子どもたちが参加の機会を得られたと思いますし、何よりも未来を担う子どもたちに、里山の素晴らしさを実感してもらえたことが、一番の収穫だと思います。2016年度も沢山の子どもたちに会えることを、楽しみにしています。

水源の里「古屋」の宝物再発見

古屋集落自主応援組織「古屋でがんばろう会」

活動場所 京都府綾部市睦寄町古屋地内
所在地 京都府綾部市睦寄町古屋23 古屋公民館内
設立年 2011年2月
会員数 正会員 38名
連絡先 0773-54-0095(上林いきいきセンター)
suiqen@city.ayabe.lg.jp
HP Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

古屋集落住民皆さんの村を消滅させたくないとの思いに沿い、会員及び企業・大学・一般ボランティア有志等の協力を得て、主に次の5つの目標に対して活動を行いました。①古屋集落と周囲の山内の自然環境の維持保全活動②水源とその流域の環境整備、流木や倒木、ゴミ等の除去③「朽の木」の保全と、とちの実の収穫への活動(生育状況の調査・獣害の防止ネット柵の設置と補修・特産品の販売促進等)④都市住民及び一般ボランティア等の活動への参加拡大と交流(定住者の確保へ)⑤とちの実加工技術の継承等です。

「環境や地域への貢献」

生活の場を守り、そこで必要とされる村仕事や山仕事の継続が、水源の里を守り、廃村の危機を乗り越えて故郷に住み続けようとする人々に対して大きな励みや支えとなりつつあるように感じています。「古屋」での取り組みは今、やればできるとの思いを着実に周囲に発信し拡がってきていると思います。

「助成金が活きたと思う点」

活動を継続する上で、運営上必要とされる費用の問題を解決すると共に、活動内容をより一層充実させ事業を行う事ができました。そして、何よりも社会的権威ある財団からの助成事業として評価を得られた事に、私たちの活動継続への励ましを得られたと感じています。

台風18号(2013年9月)により倒壊した 思子淵神社の再建プロジェクト

大見新村プロジェクト

活動場所 京都府京都市左京区大原大見町および京都市内
所在地 京都府京都市中京区恵美須町531-13
設立年 2012年
会員数 30名
連絡先 075-241-9126、newoomi@gmail.com
HP Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

2013年の台風18号で『筏流しの守護神=シコブチ神社』が倒壊しました。2014年、夏原グラントの助成もあり神社解体が終わり、2015年は京都市左京土木事務所による神社周辺の大見川護岸工事が終了しました。

「環境や地域への貢献」

大見川の上流部にある幹回り約10mで幹が17本に分かれた大桜と「川のはじまり」に触れる『春のハイキング』『トチの実ひろいと餅づくり』『シコブチツアー』を通じ、山奥の源流域の恵みや問題も感じてもらえたのではないかと思います。

「助成金が活きたと思う点」

助成のおかげで大見全体や大桜を空中から撮影してもらい、動画を通じて大見を知ってもらえました。またシコブチ研究者の嶋田奈穂子さん、農村計画学を専門とされている林直樹さん、巨木と水源の郷を守る会さまにご協力をお願いできたことでより内容の濃い事業が行えました。関わっていただいた皆さま、本当にありがとうございました。

いかだに乗ってみよう～山・川・まちのつながりの再生～ **特定非営利活動法人 プロジェクト保津川**

活動場所 京都府亀岡市を中心とした保津川（桂川流域）
 所在地 京都府亀岡市追分町谷筋 37-21 ふらっと HOUSE
 設立年 2007年
 会員数 72名
 連絡先 0771-20-2569、info@hozugawa.org
 HP Facebook Twitter



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちプロジェクト保津川では、夏原グラントのご支援をいただき、親子向け体験プログラム「いかだに乗ってみよう」を実施しています。これは、地域のみなさんとともに取り組んでいる「保津川筏復活プロジェクト」の一環として実施しているもので、山の現状を知り、間伐や皮剥ぎと言った林業体験や伝統的な技法で組まれた筏の試乗体験を通じて、森や山の保全活動の未来の担い手を育てよう、というものです。

「環境や地域への貢献」

地域住民が主体となって行われてきた森林保全作業や河川清掃活動に、一連のプログラムにご参加いただいたみなさんも新たに参加していただけるようになるなど、徐々にではありますが確実に、地域活動の新しい担い手が育ちつつあります。

「助成金が活きたと思う点」

以前は筏の試乗体験だけを親子向けプログラムとして実施していましたが、夏原グラントのご支援のおかげで、伐採から搬出、製材、そして筏組みまでの一連の作業を楽しみながら学ぶプログラムを構築することができました。ありがとうございました。

はれザウルスの森の再生と涵養 ～カブトムシの棲む森へ～ **特定非営利活動法人 おとくにパオ**

活動場所 京都府長岡京市 西山一画（私有地を賃借）
 所在地 京都府長岡京市開田4丁目 1-12 西和荘 1F2号室
 設立年 2000年
 会員数 世帯会員数 180世帯



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

昨年から引き続き 20m×20mの400㎡（クヌギA区画）の皆伐・整備をし、ドングリを竹ポットに植え各自持ち帰って育てた、クヌギやエノキの苗木を16本、1月に植樹しました。また『カブトムシこいこい』と名付けた育成場も徐々に形になってきました。成虫が卵を産み付ける場所になるよう整えていきたいと考えています。

「環境や地域への貢献」

作業をしている中で、少しずつ明るくなっていく森を実感することができ、手入れの必要性を再確認しました。またシカやイノシシの痕跡を目にすることも増え、ナラ枯れの実態も目の当たりにし、整備の必要性を実感したことで、引き続き区域を広げて整備を続けていこうという機運が広がりました。

「助成金が活きたと思う点」

専門家に学ぶ機会をたびたび持ったことで、活動の必要性と方向性ははっきりし、皆が目的を持って参加してくるようになり、また関心を持ってくれる新たな仲間が広がりつつあります。このことが、カブトムシの森への実践の第一歩となり、今後につながっていく大きな力になったと思います。

古川クリーンキャンペーン **古川を美しくする会**

活動場所 京都府久世郡久御山町古川橋から
 巨椋池排水機場まで（木津川から宇治川まで）
 毎月第一土曜日午前中
 所在地 京都府久世郡久御山町（林～東一口）
 設立年 2005年
 会員数 約200名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今年度は、10周年記念事業に認定してもらいました。9月27日、古川の環境や治水を学ぶ！「古川ウォッチング」を久御山町後援の下に、久御山排水機場で学習会と水質調査を行いました。「記念誌」は資料集めは完了しましたが膨大すぎていかに削除するか苦心中です。振り返ると始めたころの意気込みがいまだに続いている！と感じ、沿川の皆さんの協力もいまだに続いていることに感慨深くうれしく思います。しかし10歳分の体力・知能の衰えは否認できません。

「環境や地域への貢献」

2013年豪雨禍のあと、全長8.5キロの改修が当該地域は済みましたが上流はこれからです。川幅が広がったがその分、水深が不足し、今までの鯉の乱舞は見られなくなりました。水はきれいにはなったが、水質調査では厳しい結果となっています。上流からの流れ来るゴミも減りません。でも、沿川の皆さんの評価、賛同は増えています。

山門水源の森の生物多様性の保全と獣害対策 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

活動場所 滋賀県長浜市西浅井町山門
所在地 滋賀県大津市穴太 3-15-18
設立年 2001年
会員数 132名
連絡先 HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

山門水源の森は 1960年代まで薪炭林として利用されてきた二次林です。およそ900年間伐採が繰り返され今日の生物多様性が保全されてきました。しかし最近60年余は伐採されること無く放置されてきました。その結果生物多様性が失われつつあります。すなわち今日の生物多様性は、人の関わりで成り立ってきました。この天然更新試験地では、皆伐することで生物多様性の再生を考えてのことです。皆伐することによって植物の種数はほぼ2倍に増えました。しかし、シカの食害が年々激しくなり、夏原グラントの助成を得て防獣ネットを設置しネットの有無による植生回復の状況を調査しています。今年度からは、湿原部分にも防獣ネット・波板を設置し植生の再生を行っています。防獣ネットの設置により、ミツガシワ・トキソウ・サギソウ等希少種が分布を拡大してきました。

「助成金が活きたと思う点」

助成によりドローンを購入し、天然更新試験地や湿原の現況を定期的に把握できるようになりました。ドローンを活用することによって、森の樹種の特定も可能となり森全体の植生把握やシカによる食害の広がりも落葉期には確認できるようになりました。今後も地上での植生調査と合わせてより広範なシカの食害対策を実施する予定です。

余呉トレイル林道整備事業 余呉トレイルクラブ

活動場所 滋賀県長浜市余呉町
所在地 滋賀県長浜市余呉町中之郷 260番地
ウッディバル余呉内
設立年 2009年5月
会員数 40名
連絡先 HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

滋賀県長浜市余呉町は面積の93%が森林という自然豊かな地域で、かつては北陸から畿内へ抜ける交通の要衝として多くの林道が整備されてきました。また、ブナの原生林や薬草、山菜等の資源、菅山寺や賤ヶ岳古戦場等の歴史資源にも恵まれています。しかし、現在は交通手段の変更や国産木材の需要減と共に林道が廃れ、人々が山の資源に目を向けることが減っています。

「環境や地域への貢献」

こうした現状をふまえ余呉トレイルクラブでは林道の整備を行い、山野資源に目を向けさせる取り組みを行ってきました。整備の内容としては林道及びポイント箇所での下草刈り、台風や雪溶け後の倒木撤去、岐路での道標の補修や目印テープの付け替えなどを行っています。

「助成金が活きたと思う点」

この夏原グラントの活動助成金をいただいたことで林道の整備が進み、多くのハイキング客に足を運んでもらうことができました。ハイキング客には賤ヶ岳の古戦場等の歴史や山菜、薬草、木々の資源についてを学んでいただくことができました。今後も余呉の森林資源の素晴らしさを伝えながら、林道の整備に取り組んでいきたいと思えます。

カスミサンショウウオの保護に向けた生息場所（保護池）設置事業 田村山生き物ネットワーク

活動場所 滋賀県長浜市 田村山周辺
所在地 滋賀県長浜市
設立年 2010年11月
会員数 約80名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

田村山山麓で発見された希少種カスミサンショウウオの水不足による幼生絶滅危機を機に、長浜バイオ大学・地元企業等や周辺自治会などで保護組織を設立。生息に必要な恒久水量確保として、2013年度に夏原グラントで「保護池」を新設。翌年から従来の生息地からの卵の移動を開始しました。成長した親が保護池に再び戻って産卵に来るか、追跡調査を実施。昨年は2個、今年は34個もの産卵を確認。また、周辺の環境調査・整備、保護池清掃、意識啓発学習会、卵観察会、観察小屋設置準備事業を実施することができました。

「環境や地域への貢献」

地域住民が大きく関わった保護池設置事業が認められ『平成25年度しご生物多様性大賞』を受賞、また田村山周辺の各種団体事業への保護活動説明へと発展、地域での活動拡大につながっています。

「助成金が活きたと思う点」

助成金により保護池設置ができたことはもとより、当ネットワークの保護活動が県内外へ大きく情報発信され、関係団体からの学習会参加や活動発表、また保護事業への参加拡大に大きくつながっていると感じています。